

学籍番号										氏名	
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----	--

学籍番号と氏名は丁寧に記載すること

「モデリングとシミュレーション」確認テスト

2020/12/7

問 1 正規分布は、定義域が $[-\infty, \infty)$ であり、平均を μ 、標準偏差を σ とするときの確率密度が次式で与えられる。

$$f(x) = \frac{1}{\sqrt{2\pi\sigma^2}} \exp\left[-\frac{(x-\mu)^2}{2\sigma^2}\right] \quad (1)$$

対応する母関数は

$$G(z) = \int_{-\infty}^{\infty} f(x)z^x dx = \exp\left[\mu \ln z + \frac{\sigma^2}{2} (\ln z)^2\right] \quad (2)$$

と得ることができる。この時 $G'(z)$ 及び $G'(1)$ を求めよ。また、それを用いて、 x の平均を求めよ。

解答例 式 (2) の被積分関数は

$$f(x)z^x = \exp \left[x \ln z - \frac{(x - \mu)^2}{2\sigma^2} \right]$$

である。指数関数の変数部分を x の完全平方と x を含まない部分の二つに分ける。

$$\begin{aligned} x \ln z - \frac{(x - \mu)^2}{2\sigma^2} &= -\frac{1}{2\sigma^2} [x^2 + 2\mu x + \mu^2 - 2\sigma^2 x \ln z] \\ &= -\frac{1}{2\sigma^2} [x^2 - 2(\mu + \sigma^2 \ln z)x + (\mu + \sigma^2 \ln z)^2 - 2\mu\sigma^2 \ln z - \sigma^4(\ln z)^2] \\ &= -\frac{1}{2\sigma^2} (x - \mu - \sigma^2 \ln z)^2 + \mu \ln z + \frac{\sigma^2}{2} (\ln z)^2 \end{aligned}$$

x を含まない部分は積分の外に出すことができる。

$$\begin{aligned} G(z) &= \exp \left[\mu \ln z + \frac{\sigma^2}{2} (\ln z)^2 \right] \\ &\quad \times \frac{1}{\sqrt{2\pi\sigma^2}} \int_{-\infty}^{\infty} \exp \left[-\frac{1}{2\sigma^2} (x - \mu - \sigma^2 \ln z)^2 \right] dx \end{aligned}$$

積分部分は、 x の原点をずらしているだけであるので、1 となり

$$G(z) = \exp \left[\mu \ln z + \frac{\sigma^2}{2} (\ln z)^2 \right]$$

を得る。

母関数 $G(z)$ の具体的な表式が分かったので、これを用いて平均と標準偏差を求めることができる。そのため、母関数 $G(z)$ の一階微分と二階微分を計算する。

$$\begin{aligned} G'(z) &= \left(\frac{\mu}{z} + \sigma^2 \frac{\ln z}{z} \right) G(z) \\ G''(z) &= \left(-\frac{\mu}{z^2} - \sigma^2 \frac{\ln z}{z^2} + \sigma^2 \frac{1}{z^2} \right) G(z) + \left(\frac{\mu}{z} + \sigma^2 \frac{\ln z}{z} \right)^2 G(z) \end{aligned}$$

$$G'(1) = \mu \quad G''(1) = \sigma^2 + \mu^2 - \mu$$

以上から平均と分散を計算することとする。

$$\begin{aligned} \langle x \rangle &= G'(1) = \mu \\ \langle x^2 \rangle - \langle x \rangle^2 &= G''(1) + G'(1) - (G'(1))^2 \\ &= \sigma^2 + \mu^2 - \mu + \mu - \mu^2 = \sigma^2 \end{aligned}$$